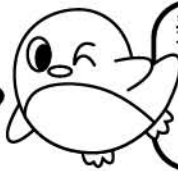


ペンギンレポート



発行所
市民フォーラム
〒183-8703
府中市宮西町2-24

インフラマネジメント白書を策定

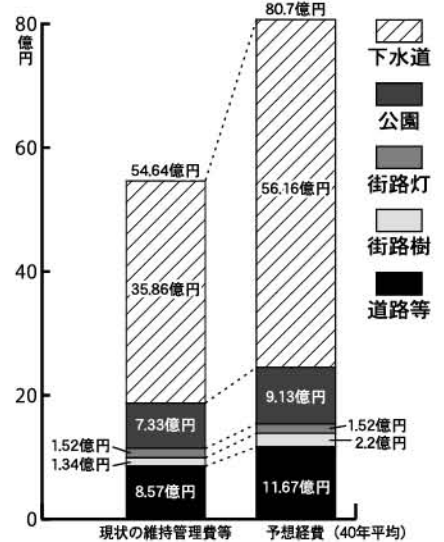
府中市では、昭和30年代～40年代の高度経済成長期に多くの、道路や下水道などのインフラ（都市基盤）が整備され、今のような豊かな暮らしにつながっていますが、すでに30年以上が経過し、老朽化、劣化が進行しています。しかし、厳しい財政状況の中、今後の維持管理、更新も簡単ではありません。

そこで、現状を把握し、これからの計画を立てるため、まず、府中市が保有するストック情報と今後かかるコストについて調査した「インフラマネジメント白書」を策定し、公表しました。

府中市の現在のインフラ維持管理費の総額は、54億6400万円ですが、今後、40年間にかかる経費は、平均しますと年間80億7000万円と予測され、**年額26億600万円（下水道を含む）の財政不足が生じることが明らかになりました。公共施設の年間24億5000万円の不足と合わせると、年間50億5600万円の財政不足となります。**

公共施設については、昨春、「公共施設マネジメント計画」を策定しましたが、インフラについても、今後、計画を検討することになります。財政に与える影響を抑制しながら、**総合的、中長期視点に立った最適化とともに、安全、快適に活用**できるようにすることが重要です。

府中市が管理するインフラの将来経費



ゆったりリゾート廃止

事業仕分けでも厳しい指摘がありましたが、多くの方に利用されてきました「ゆったりリゾート」が今年秋以降の廃止が決定しました。近年の財政状況を反映したのですが、「ゆったりリゾート」は、保養施設として市が保有していた伊豆荘の廃止に伴い、それに代わる市民の福利厚生として平成15年に導入され、現在の利用者は年間15000人ほどでした。

組織変更 高野市長色を反映

来年度から、高野市長の就任にともなう体制を構築し、市民ニーズや行政課題に迅速・柔軟に対応するため組織を再編します。市民協働推進本部を新設するなど、高野市長の独自色を打ち出しました。将来の課題に着目した機能的な体制が構築されたと思います。



セーフコミュニティ（亀岡市）



国体準備（岐阜県庁前）



災害廃棄物選別処理施設（女川町）



除染情報プラザ（福島市）



発達支援センター（仙台市）



▲ガレキの山



▼復幸マルシェ

復興の光と影（気仙沼市12年5月）

平成10年の中央教育審議会で答申され、全国に広がっている**学校裁量予算制度**というものがあります。「地域に開かれた特色ある学校づくり」のために提言されたものですが、最近では、全国的な予算削減傾向の中、効率的、効果的な学校運営を期待されることから、多くの自治体で導入されています。

府中市においても、厳しい財政状況が続くことから、教育予算も削減の対象とされ、**毎年、学校に配当される予算が減額**されています。このような状況の中、**無駄をなくすと同時に、学校独自の中・長期的な視点に立った予算計画を立てていかなければなりません。**

地域に開かれた「オンリーワン」の学校づくりを実現するため、また、予算削減傾向の中で、効率的・効果的な予算編成と執行を図るためにも、全国で導入が進められている**学校裁量予算が、府中市においても必要不可欠との考えから、質問しました。**

Q 学校配当予算の総額と児童生徒総数について、過去5年間の推移は？

A	平成20年	21年	22年	23年	24年
配当予算総額	4,458億円	4,6321億円	4,6389億円	4,3798億円	4,1087億円
児童生徒総数	18,309人	18,582人	18,719人	18,871人	18,795人

ここで、比較のため、配当予算総額÷児童生徒総数で、生徒一人あたりの配当予算を計算しますと、**24,928円(平成21年) ⇒ 3,068円削減 21,860円(平成24年)**、率にして12%の削減。はたして教育の質は保てるのか…心配です。

Q これ以上の学校配当予算の減額は避けなければならないが、市の見解は？

A 市長答弁：府中市の将来を担う子どもたちに、**より充実した教育環境を整えるため、限られた財源を選択と集中により重点化し、予算配分できるよう創意工夫をしていきたい。**



「米百俵の精神」。戊辰戦争で敗れた長岡藩が、近隣から見舞いとして贈られた米百俵を売却し学校を建設。その際「米百俵も食えばなくなるが、教育に充てれば、明日の一万、百万俵になる」と言って窮乏する藩士を説き伏せたそうです。府中市でも限られた予算の中、充実した教育環境を整えるためしっかりとした予算配分をお願いいたします。(一般質問抜粋)

Q 学校現場では、執行権や執行上の流用の拡大、緩和について意見を聞かすが、教育委員会の認識と現在の課題は？

A 現在の予算編成は、細かな枠組みが決められているため、**学校の実態や実情に応じた予算編成や弾力的な予算執行が行いにくい。**学校の予算執行権と流用の拡大は、**校長権限で決済できるようになるため、各学校で特色・個性を生かした執行ができ、自主的・自律的な学校運営につながると認識しているが十分な検討も必要。**

府中市の学校配当予算は、学級数・児童生徒数に応じ事業ごとに細かく決められるため、学校独自の特色を出そうとすると予算不足になります。他を削っても回すこと(流用)ができないため、学校の特色を発揮できずにいます。**節約しても、他に使えない仕組みになっています。**

※流用は裁量予算の一手法として、横浜市、名古屋市名などでは幅広く認められています。

Q 学校裁量予算の導入には、PDCAサイクルがしっかり機能することが大前提。府中市は？

A 毎年の自己評価、関係者評価とともに、3年に一度、学識経験者、教育専門家、民間経営者による第三者評価を実施しているため、**PDCAサイクルを機能させる体制は整っている。**

Q 学校裁量予算を導入すべきと考えるが、見解と課題は？

A 学校裁量予算は、各小中学校が限られた予算を創意工夫し特色・個性を生かした取り組みに重点的に配分することにより、地域や子どもたちの実情に応じた主体的な教育活動が展開しやすくなるので、**先行実施している東京都や他市の状況と課題を把握しながら対応する。**



平成16年に学校裁量予算を採用し、校長の権限を拡大した福岡の春日市では、日常業務のスリム化により、教職員や教育委員会の職員にも余裕が生まれ、それぞれの意識が変わり、地域が、学校が変わったそうです。最大のメリットは、業務の簡素化と学校の状況に合わせた予算執行ができるため、教員が子どもたちと向き合う時間が取れるようになったことだそうです。府中市においても、「学校のことは学校に任せる」学校裁量予算の研究と準備にかかり、来年度には学校で予算編成を行えるよう要望いたします。(一般質問抜粋)



山上みのる

府中市議会議員 会派：市民フォーラム／民主党東京都府中市支部政策委員

事務所所在地 〒183-0056

東京都府中市寿町3-9-18-102

TEL・FAX 042-366-3543

E-mail yamagami_229@nifty.com

URL <http://yamagami.a.la9.jp/>

郵便振替 00160-8-607854 (山上みのる後援会)

ご意見ご要望をお寄せ下さい。ご支援も宜しく願います。